

安全

5-2 電気火災を発生させない方法を知っていますか？

コンセントや電線は通常は熱源とはならないが、「過電流」が生じると発熱する。「過電流」は、以下のような状態で発生する。

過電流が発生する例

- ・ コンセントに差し込んだプラグが緩い
- ・ 延長コードの電線が細いのに大電流が流れる電気製品を使う
- ・ 長い間コンセントに挿したプラグの根元にホコリが溜まっている
- ・ 電線の上に家具など大きなものが乗って、電線が変形している
- ・ 電線を束ねたり、巻いた状態で使用している

電線や延長コードは、変形していないか確認することが大事である。変に折れ曲がったり、断線しそうな電線は早急に新しいものに変える。また長い間コンセントに挿したプラグ（冷蔵庫、エアコン、テレビなど）はホコリが溜まっていないか確認する。特に最近はパソコンなどの電化製品が普及しているため、OA タップを使用することが多い。この OA タップの表示容量、設置場所（ホコリが溜まりやすい場所でないか）、電線の状態も確認する。また電線をステーブルなどで壁に固定しないようにする。

通常は、過電流が発生した場合は、漏電遮断機（漏電ブレーカー）が機能して電源を遮断する。漏電遮断機が作動して電源が遮断され、復旧させてもすぐに漏電遮断機が作動する場合は、どこかで過電流が発生している。そのときは電気工事店に相談する。アパート・マンション暮らしの方は、管理者に相談する。

電気火災を発生させないためには、過電流を発生させない。